

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-104	Year Month Day Time 2009 年 5 月 3 日 15 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB	
明	成	洛	南
	85	79	
	○	●	
		18 1st 24	
		21 2nd 18	
		22 3rd 15	
		24 4th 22	
		OT	

主審:Referee
藤垣 庸二 宮城県
副審:Umpire
谷地 温 秋田県

テーブル・オフィシャル:Table officials
能代北

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	村田	翔	11	2	2	1	5	4	×	蛭名	涼	13	1	4	2	5
5		玉田	駿	-	-	-	-	0	5	×	小林	遥太	17	0	4	9	3
6	/	畠山	俊樹	0	0	0	0	2	6	×	鈴山	高範	11	1	3	2	0
7	/	圓山	慧	0	0	0	0	2	7	/	河上	宗平	2	0	1	0	2
8		須川	陽介	-	-	-	-	0	8	/	塩谷	亨	3	0	1	1	2
9	/	木村	聡	12	0	5	2	1	9		田中	太一	-	-	-	-	0
10	×	高田	歳也	28	1	12	1	4	10		鈴木	貴大	-	-	-	-	0
11		門田	瑠唯	-	-	-	-	0	11	×	木村	晃大	24	1	8	5	3
12		松澤	大晃	-	-	-	-	0	12	/	笹山	貴哉	0	0	0	0	0
13	×	杉本	健将	4	0	2	0	5	13	×	満山	拓未	9	2	1	1	1
14	×	菊地	大	21	0	9	3	2	14		竹本	隼	-	-	-	-	0
15	×	宮澤	耀佑	8	0	4	0	5	15		谷口	光貴	-	-	-	-	0
16	/	藤井	祐希	1	0	0	1	1	16		大元	孝文	-	-	-	-	0
17	/	蔦木	大智	0	0	0	0	1	17		神津	陵平	-	-	-	-	0
18	/	安藤	誓哉	0	0	0	0	0	18		國政	孝人	-	-	-	-	0
コーチ		佐藤	久夫						コーチ		吉田	裕司					
アコチ		細野	真						アコチ		作本	信夫雄					
合計				85	3	34	8	28	合計				79	5	22	20	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両校ともマンツーマンディフェンスで始まった。双方とも立ち上がり動きが固くミスを連発し、なかなか得点につながらなかったが、洛南は#6鈴山のドライブを皮切りに#13満山の3P、#11木村のジャンプシュートなど、多彩な攻撃で主導権を握る。対する明成は#14菊地、#10高田のドライブで対抗するが、洛南のタイトなディフェンスに得点することができず、一気に点差を広げられる。終了直前、明成は#10高田、#15宮澤のパワープレーで差を縮めるものの18-24、洛南6点リードで第1Q終了。

第2Q序盤、明成は固さが取れ、#10高田の連続ドライブや#4村田の速攻で連続8点を奪い、一気に逆転する。一方の洛南は慌ててミスを連発し、たまたまタイムアウトを取り、流れを引き寄せようとする。ここから両チームとも激しいディフェンスで試合は膠着状態となり、一進一退の攻防を見せる。残り3分を切ったところで、明成#4村田の3Pが決まり、明成が頭ひとつリードする。しかし、洛南は鋭いドライブを基調としながら#11木村の3Pで再逆転。さらに#6鈴山がブザービーターを決め、39-42と洛南が3点のリードを保った。

第3Q、立ち上がりから明成ペースで試合が運ばれる。#10高田、#14菊地の連続スティールからのレイアップで一気に逆転しさらに点差を6点に広げ、49-43とする。洛南も#11木村のドライブで一時は同点とするものの、傾いた流れを変えることは出来ず、ターンオーバーを重ねてしまう。明成は#10高田、#14菊地が着実に得点し、残り3分で59-51とリードを8点に広げるが、洛南は#4蛭名が明成#10高田の動きを激しいディフェンスでおさえこみ、#8塩谷のゴール下などで点差を縮め、61-57と明成4点リードで第3Q終了。

第4Q、洛南はハイポストからゴール下にボールを落とし、高さを生かした攻撃を見せる。明成は#10高田からのパスを合わせ、#15宮澤が連続得点を決めるなど、パスを生かした攻撃で対抗する。しかし、高さを生かした洛南の攻めに、明成はファウルを重ね、残り5分30秒で5ファウルとなる。このまま一気に洛南ペースになるかと思われたが、洛南はことごとくフリースローをはずしてしまい、点差が縮まらない。明成は#14菊地、#9木村のドライブでさらに点差を広げる。洛南も必死の抵抗を見せ、#6鈴山の3Pなどで食い下がるが、点差を縮めるには至らず、結局85-79で明成が勝利した。両校ともチームの特徴を生かしたすばらしい一戦だった。

文責 【 山本 太志 】